

外国語科学習指導案

1. 履修単位 5単位
2. 実施日時 令和 3年 10月4日(月) 第5時限
3. 学 級 2年2組(40名)
4. 使用教科書 NEW ONE WORLD English Communication II (教育出版)
5. 単元名 Lesson 4 : Different Ways to Enjoy Art Museum
6. 単元設定の理由

○題材観

本単元は、誰もが知っている有名な作品を例として、芸術鑑賞をより効果的に楽しんで行うため、意外な事実や楽しみ方について紹介している。ここで学習する背景知識や豊富な言語材料を用い、芸術作品について触れる機会を設けることで、生徒自身が興味を持って芸術鑑賞を楽しむきっかけとしたい。また、本文の例を参考に、実際に好きな芸術作品を英語で紹介し、感想を共有する機会を持たせたい。さらに、見聞きしたことを説明する力や状況を描写するスキルの向上に適した題材である。

○指導観

本単元は、本文の内容理解をもとに、伝えたい内容を整理し、情報や自分の意見を英語でまとめるのに適した内容となっている。そこで、「CAN-DO リスト」の「書くこと②」に関する指導と位置付け、伝えたい内容をまとめ、情報や自分の考えを伝えるために必要な構成や表現方法に焦点を当てた指導を行う。紹介する活動の前に状況や場面、目的を明確にし、積極的に活動に取り組ませる。必要な表現はあらかじめ提示したり、デモンストレーションや練習を段階的に行うことによって、情報や意見を交換し内容を深め合う言語活動を目指したい。

7. 単元の主な目標

- (1) 相手に積極的に情報や考えを伝えることができる。
- (2) 伝えたい内容を整理し、情報や自分の考えを相手に文章を書いて伝える。
「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連→「書くこと②」
- (3) 芸術作品や芸術家について聞いたり読んだりして、概要や要点を読み取る。
- (4) ①SVOC(=現在分詞・過去分詞または原型不定詞)を用いた文の構造と意味を理解する。
②形式目的語it(to不定詞・that節をさすもの)を用いた文の構造と意味を理解する。

8. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
相手に積極的に情報や考えを伝えようとしている。	伝えたい内容を整理し、情報や自分の考えを相手に文章を書いて伝えることができる。	芸術作品や芸術家について聞いたり読んだりして、概要や要点を読み取るすることができる。	①SVOC(=現在分詞・過去分詞または原型不定詞)を用いた文の構造と意味を理解している。 ②形式目的語it(to不定詞・that節をさすもの)を用いた文の構造と意味を理解している。

9. 指導と評価の計画

時間	ねらい	本課の評価規準	評価方法
1	Lesson4 の内容に関心を持ち、題材の概要を把握する。	ア	活動の観察
2	Part1 本文を読み、概要を理解する。	ウ	後日ペーパーテスト
3	Part2 本文を読み、概要を理解する。	ウ	後日ペーパーテスト
4	Part1,2 を読み、内容を要約する。	イ	後日ペーパーテスト
5	Part3 本文を読み、概要を理解する。	ウ	後日ペーパーテスト
6	Part4 本文を読み、概要を理解する。	ウ	後日ペーパーテスト
7	Part3,4 を読み、内容を要約する。	イ	後日ペーパーテスト
8	本文全体の内容要約・文法の振り返りをする。	エ	後日ペーパーテスト
⑨	好きな芸術作品を紹介する。	ア	活動の観察
後日	<p><ペーパーテスト></p> <p>◇SVOC(=現在分詞・過去分詞または原型不定詞)を用いた文の構造や意味についての理解をみる問題</p> <p>◇形式目的語it(to不定詞・that節をさすもの)を用いた文の構造についての理解をみる問題</p> <p>◇さまざまな美術作品、芸術家についての理解をみる問題</p>	<p>エの①</p> <p>エの②</p> <p>ウ</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>ペーパーテスト</p>

○は本時

10. 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第2学年）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
①読んだり聞いたりした内容について、自分の意見や考えをやや長い文や複数の文で話すことができる。	<p>コミュ英I</p> <p>・ペアワーク</p> <p>・グループワーク</p> <p>・プレゼンテーション</p>	①活動中に要点や関連事項などを整理しながら書き取ることができる。	<p>コミュ英I</p> <p>・定期考査</p> <p>・ワークシートチェック</p>	①物事に関する紹介や対話を聞いて、詳細を理解することができる。	<p>コミュ英I</p> <p>・リスニングテスト</p> <p>・定期考査</p>	①評論、随筆などを読んで要点や詳細の関連を考えながら英文を読んだりすることができる。	<p>コミュ英I</p> <p>・リーディングテスト</p> <p>・音読テスト</p> <p>・定期考査</p>
②与えられた条件に合わせて、活動中の受け答えを、適切に英語ですることができる。	<p>英語表現I</p> <p>・small talk</p>	②様々な主題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。	<p>英語表現I</p> <p>・自由英作文</p>	②事実や意見などを区別して聞き取ることができる。	<p>英語表現I</p> <p>・リスニングテスト</p> <p>・定期考査</p>	②聞き手に伝わるように音読をすることができる。	

1 1. 本時（第9時）の指導過程

(1) 目標

好きな芸術作品について紹介する。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
2分	1 授業内容を知る。	・明るい雰囲気づくりに努める。		
5分	2 本文の内容の振り返りをする。	・Q&Aを通してテンポよく確認する。 ・全体に投げかけて、答えが出ない場合は、ペアで話し合う時間を設ける。		
挿絵や写真等を電子黒板で提示する（一斉学習）				
5分	3 活動の内容や目標を理解する。	・活動の目的や内容を整理して示す。 ・相手に伝わりやすい文章を書くという目標を明確にし、活動への意欲を促す。		
10分	4 美術館ガイドの例を聞き、ペアで内容を確認する。	・聞いた内容に関して、3つの項目に絞り整理して、書き取らせる。 ・聞き取った内容をもとに動画に合わせて会話練習をさせ、場面を想像させる。		
動画に合わせてペアで対話のロールプレイをする（個別学習）				
5分	5 芸術作品を紹介するために必要な表現を確認する。	・例で聞き取った内容や既習事項について確認させるとともに、文章の構成を理解させる。		
15分	6 好きな芸術作品の紹介文を書く。	・あらかじめ画像を準備させるなど動機づけを高める工夫をする。 ・うまく書けないことがあっても、別の語句や表現を使って言い換えるなどして、自分の言葉で書くように指導する。	ア	ワークシート
画像を共有して、ペアで紹介文を書く（協働学習）				
5分	7 美術館ガイドになりきって芸術作品を紹介する。	・聞き手を意識して発表するよう促す。		
画像を共有して、学級全体で発表する（協働学習）				
3分	8 本時の振り返りと自己評価を行う。	・自分の文章を読み返し、必要な情報や構成に注意して相手に伝わる文が書けているか、確認させる。 ・今後も聞き手や読み手を意識して話したり文章を書いたりするように促す。		

「十分満足できる」と判断される状況	相手に伝わるように、必要な情報や構成に注意して、まとまりのある文章が書けている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	書くためのポイントをわかりやすく提示するとともに、間違いを恐れずに書くよう促す。

